

互助会だより

No. 26

2024年3月20日

公益社団法人

上田地域シルバー人材センター 会員互助会

誰も自分の体を憎んだりせず、養って大切にします

第13回 いきいきシルバーまつり

令和6年2月25日 雪まじりの雨が降る中、堀井正子氏の熱意がこもった講演が行われました。講演の主題は「わたしの一茶 あなたの一茶」堀井先生は一茶が生まれてから亡くなるまでの生涯をそして、その時々々に詠んだ俳句と背景を大きなスクリーンに写して説明してくださいました。

一茶は3才の時に母親を亡くしました。8才になると後妻が入り、後妻が男の子を生むと義母から辛くあたられ、15才で家を出て江戸に行き、俳人としての人生を歩むようになりました。

一茶はあるがまを良しとし、楽しいこと、辛いこと、怒り、悲しみ、喜び、身の回りにあるあらゆるものを俳句に詠み込んで日記に書き記しました。その数2万句を超えています。その中の一つを紹介しましょう。

「我と来て 遊べや親の ない雀」

一茶は一羽きりでぽつんとしているスズメを見て、守ってくれる母スズメがいない自分と同じひとりぼっちなんだと思った。さあここへおいで、我と一緒に遊ぼうや!!このように一茶の背景を知ると俳句の内容が容易に理解できます。一茶が俳句にしてあらわした率直な心情は時代を超えて私たちの心を捉えます。一茶の俳句をもっともっと知りたいという気持ちにさせられます。

参加された方は「今まで知らなかったことを知ることができて本当に良かった、一茶が好きになりました。」と感想を伝えてくださいました。



堀井正子氏

シリーズ
元気に生きよう!! ⑨

上手に年を重ねるには

慎み深くある

慎み深い人は知恵を働かせて、置かれた状況で最善を尽くします。

バランスをとる

こざっぱりとした清潔な服装を心がけます。年寄りだからと言わんばかりのだらしない格好はしません。

寛大である

自分の時間や持っているものを他の人に分け与えましょう。寛大さは寛大さを生みます。愛と愛情が返ってきます。人に心地よさを感じさせます。

積極的な見方をする

今できることを楽しむようにし、昔はできて今はできないことをくよくよ考えないようにします。

人付き合いを楽しむ

他の人に個人的な関心を示しましょう。人との付き合いを楽しんでいる人達は会話好きです。話を聞く必要もあります。

感謝の気持ちを持つ

感謝を表すことは、良い関係を育むのに役立ちます。何にもまして、生きていること自体に感謝しましょう。



正しい態度と進んで適応しようとする気持ちがあれば、上手に年を重ねることができるのです。

第13回 いきいきシルバー祭り

第1部 作品展

令和5年9月6日～8日までの3日間、サントミュージゼ市民アトリエギャラリーで開催し、互助会会員34名104作品の出展があり、コロナ禍で中止や延期があり5年半ぶりの開催で作品が集まるか心配しましたが、多くの会員の皆様のご協力により会員同士の交流を深めることができ、174名の来場者がありました。



第2部 アトラクション

令和6年2月25日サントミュージゼ小ホールにて、6年ぶりに開催しました。雪降りのあいにくの天気でしたが、120名余の来場者があり寒い中でも会場内は熱気に包まれ、1団体3組の皆さんの発表がありました。

初めに「ポーマイカイ」総勢23名による2曲のフラダンス。会場は華やかで優美な雰囲気になりました。

二番目は女性班きずなの会長も務められている市川久子さんによる優雅な身のこなしと表情豊かな日本舞踊でした。

最後は衣裳の甲冑も手作り、振付も自ら創作している笹栗博美さんに、演武と剣舞を踊っていただきました。

また、会場の入り口ではリフォーム班による展示即売会もあり、賑わいをみせていました。



ポーマイカイの皆さん



市川久子さん



笹栗博美さん

活動報告 平成5年度 各地区の会員親睦旅行開催

上田・青木地区 10月24日(火)

上杉謙信ゆかりの 春日山城跡等を巡る旅

参加者33名

春日山城では、上杉武将隊のガイドの案内で急坂の山城跡まで登ることができました。まるで上杉謙信公の声が聞こえてくる様なわかりやすいガイドでした。

お昼は上越鮮魚センターの食堂でお魚たっぷりの美味しいランチをいただきました。鮮魚センターでは新鮮なお魚を買うことができました。



上杉武将隊のガイドの案内を受ける

長和地区 10月30日(火)

久能山東照宮とその周辺 日帰りバス旅行

参加者35名

稀に見る晴天。日本平夢テラスでは眼下に清水港、正面遠方には富士山を眺め大変感動しました。

昼食は新鮮なまぐろ8種盛膳に大満足。昼食後「清水港クルーズ」では暖かな潮風を浴びて湾内を一周。清水魚市場河岸の市では、海産物の買い物をしました。帰りのバスの中ではビンゴゲームを楽しみ、いただいた景品にも満足しました。



丸子・武石地区 11月14日(火)

日本三大菊祭りと寺泊での 買い物日帰りツアー

参加者32名

新潟県の弥彦神社参拝や菊祭り見学、寺泊での昼食と海産物の買い物など盛りだくさんの内容でした。雨模様でしたが行く先々では雨はやみ、バスの中ではアカペラで歌い出すなど楽しい旅行でした。



東御地区 11月16日(木)・17日(金)

静岡名所散策と家康公

参加者23名

快晴の富士山に迎えられ、4年間待ちに待った一泊二日の旅行が事故なく行われました。車内でも笑い声が絶えない楽しい旅を満喫し「この次もまた行きましょう」と約束をかわしました。



12/7・8
(木・金)

13名参加

姉妹提携 氷見市シルバー人材センターとの交流

氷見市シルバー人材センターにて研修を行い、お互いの活動報告を交わしました。

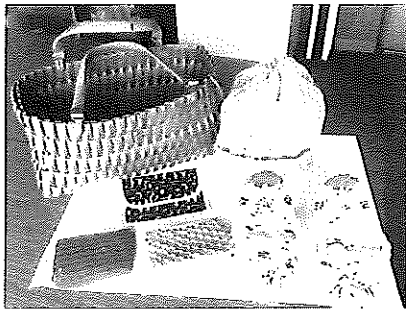
その後氷見の民宿磯波風(イソップ)で親睦を深めることができました。





上田地区 上田リフォーム班代表者
大角美志子さん

私は子供の頃から手芸が好きでした。子供の頃は、余り布を集めてお手玉を作ったり、お人形さんに着せる物を作ったりして遊んでいました。中学になるとスラックスを作って展示会に出展したこともありました。



大角さんの作品のほんの一例

80歳を越えた今でも手芸が大好きで着物をリフォームして作業衣を作り、家で着て楽しんでいます。数年前のこと、浴衣の布からリフォームして作った布ゾウリを40足、同級会に持って行って皆さんにプレゼントしたことがありました。それがきっかけとなり同級生が布ゾウリを作り始めた人もいます。

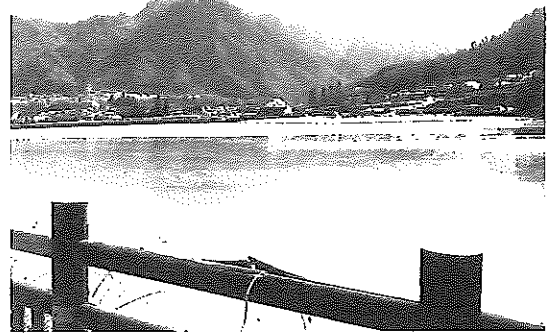
4月からは、諏訪部にあるリフォーム班の作業場で、リフォーム班の方々の作品を販売することを計画しています。どうぞ皆さんでお出掛けください。お待ちしております。

シリーズ地元旅 ⑧

舌喰池

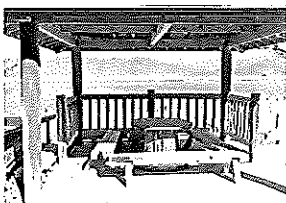
憩いの広場へ行ってみませんか

降水量の少ない塩田には41個のため池があります。その殆どが江戸時代初期から中期かけて築造されました。その中の一つが手塚にある舌喰池(地元では大池とも呼ばれている)です。舌喰池の人柱伝説※は今から1300年位前の奈良時代に生まれたと言われています。舌喰池の景観は素晴らしく、北は烏帽子、浅間山。南は独鈷山、女神岳と360度山々を眺めることができます。池の水面に目を向けるとキラキラとおだやかに波が寄せて数えきれないほどのカモ達がユラユラと浮いているのです。



池の周りを散策してみると、白サギやカワセミ等、沢山の野鳥も見ることができバードウォッチングも楽しむことができます。池の南側は手塚自治区の方々が芝生を植え、きれいに整えてくださり、そこで子供たちと遊んだり犬と戯れたりすることができ、ゆっくりとお茶を飲んだりお弁当を食べたりできる四阿があるのです。さあ、舌喰池 憩いの広場へ行ってみませんか。

行き方/さくら国際高等学校、独鈷館の西側徒歩5分 駐車場あり



※人柱伝説

昔この池が造られた頃、土手から水がもれて水を十分に溜めることができず、池の改修することになりました。土手に人柱を生きたまま埋めないという話が伝わってきました。人柱に誰を入れるか、くじ引きで決めることになり、村はずれに一人で住んでいた美しい娘さんが、人柱に選ばれました。娘さんは人柱に立つ前の晩、身の不遇を嘆いて舌を喰い切り池に身を投げて死んでしまいました。村人は舌喰池と呼ぶようになった。

いきいきシルバー祭り 第2部が
有線テレビで放映されます!!

- 上田 3月24日(日)
- 丸子 4月20日(土)・21日(日)

編集後記

「誰かをささえ、互いに支えられ」
コロナが明けて、互助会活動も計画した事が実行できるようになりました。これからも大勢の皆様が積極的に参加されます様に願っています。